

下西っ子

倉敷市立下津井西小学校 学校だより

令和8年2月12日

No.127

地域の方に感謝を！

下津井西小学校には、子どもたちのためにお力を貸してくださる力強い「人材バンク」があります。下津井ならではの漁業、歴史のお話をしてくださる方や下津井節の民謡や踊りを教えてくださる方。今回は、月に2・3回水曜日の昼休みに読み聞かせに来てくださっている筆海学童クラブの先生方のご紹介です。子どもたちは、お二人の先生の読み聞かせが大好きです。いつも先生方の語り口に物語の世界にいざなわれ、聞き入っています。涙あり、笑いありの充実した時間を過ごすことができます。ぜひ、下津井学園でもお話を聞かせていただきたいと思います。

2月13日には、いつもお世話になっている学校運営委員会の方々やパトロール隊の方々、ご協力いただいた人材バンクの方々をお招きして、下津井西小学校最後の感謝の会をいたします。

6年生を中心に、子どもたちは歌やメッセージを準備しています。感謝の思いをしっかりとお伝えしたいと思います。

当たり前の風景をもう一度ながめて・・・

下の写真は、下津井西小学校の変わらぬ朝の風景です。一列に並んで登校する子どもたちを運営委員会の児童や先生方が大きな声で朝の挨拶をして迎えます。校門の手前には階段があり、息を弾ませながら登ってきた先の植え込みには、校歌の石碑とともに吉備真備公の石像があります。

薪を背負って本を読んでいる二宮金次郎の石像は、学校でよく見かけますが、本校では、真備公が迎えてくれています。真備

公は、岡山県出身の奈良時代のス

ーパー外交官であり、天才学者です。下津井西小学校の子どもたちに、大先輩が「大志を抱け」と言ってくれているようです。この風景を眺められるのもあとわずか。当たり前と思っていたことが、決して当たり前ではないことに気づくと、朝の風景も貴重な宝物のように感じます。

読み聞かせに聞き入っている1年生と2年生



植え込みの中に歌碑とともに
ひっそりとたたずむ吉備真備公。

